

総務厚生常任委員会 3月10日

理想とする職員像を目指して

人材育成基本方針について説明を受けた。

町当局の説明

【概要】

本町職員の人材育成は、平成15年の「人材育成基本方針」策定から3年ごとに見直しを行い、組織全体で町政を支えるプロ職員を育てる取り組みを行ってきた。

- ① 町の方針を理解し、目標達成に向け結束してまい進する組織
- ② 町の特性と町民ニーズを正しく把握し政策が展開できる組織
- ③ 幅広い視野で効率的

な行政経営ができる組織

- ④ 透明性を確保し、町民との相互理解を深め共創できる組織
- ⑤ 職員の人材育成を重視した教育力の高い組織

質疑

アンケート回答率

【委員】 職員のアナキト調査で全員が回答できなかった背景は何か

【当局】 期間を限定したこと、育休されていた方がいたことなどによるもの。育休明けに聞き取りを行いたい。

地域課題の提起

【委員】 地域課題について自主的に問題提起する職員はいるか。

【当局】 地域活動や消防

団に参加しての部分的な提案がある。

民間企業との人事交流

【委員】 民間企業との人事交流は今まであるか

【当局】 これまではないが、新たな取り組みを目指すため、可能性を探っていききたい。

その他の説明

- 白鷹町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）（素案）
- 第2期健康と福祉の里構想
- 置賜成年後見センターの設置
- 白鷹町生涯学習振興計画（案）

産業建設常任委員会 3月11日

施設整備の方向性が出る

6次産業化推進拠点施設の整備について説明を受けた。

【状況】

食と農村交流施設（どりいむ農園直売所）周辺への6次産業化推進拠点施設の整備に向け、調査検討業務を実施し、検討委員会や地区関係者などと意見交換を行い、想定される整備内容や配置場所などの検討を進めている。

【方向性】

「農」を起点とした取組と連携し、「付加価値」を高めながら持続可能な地域社会を形成することが重要。具体的な配置場所はB案（下図参照）を軸に進める。

質疑

経費が増加

【委員】 9月の説明から

事業費が大幅に増加しているのはなぜか。

【当局】 資材が高騰したためである。

【委員】 運営支援はどう検討したか。

【当局】 販路拡大や新商品開発のアドバイス、人材確保のマッチングなどの機能を併せ持った支援が必要である。財政面や物心両面からの支援を考えている。

調査委託業務

【委員】 調査委託業務はどの程度の調査を委託したのか。

【当局】 食と農村交流施設周辺を前提に、一体としていくにはどれがいいか検討し、各案を調査いただいた。建物にも工房の内容や設計についてノウハウをい

ただいた。

【委員】 どりいむ農園直売所との連携が大事。経営を含めコンサルタントの活用は考えていないか。

【当局】 県6次産業化サポートセンターと調整しながら進めたいと考えている。

